

震災復興用木質資材の供給拡大について

【担当省庁】林野庁

森林は、木材等の生産のほか、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場の提供など様々な機能を担っています。この森林の多面的機能を発揮させるためには、間伐等の森林整備を行い、森林を健全な状態にすることが重要です。

また、木材は、地球環境への負荷が少ない再生可能な資源であり、間伐材を積極的に利用することは、地球温暖化の防止にもつながります。

特に、現在、東日本大震災により、木材・木製品の供給が不足している中、間伐材の利用を促進するとともに、京都府における合板生産体制を強化することにより、早急な被災地の復興を支援するため、次のとおり提案します。

<京都府からの提案>

1 合板増産のために必要な施設整備の支援

仮設住宅やその後の復興住宅の建設に不可欠である合板の増産に必要な施設を緊急に整備し、建築用木質資材の供給不足を早期に解消するため、森林整備加速化・林業再生基金事業について、次期補正予算を確保すること。

2 合板増産に必要な原木の安定的な確保

建築用木質資材の増産に必要な原木を安定的に確保するため、府内加工施設への間伐材の搬出・運搬に対する助成について、拡充・継続すること。

京都府の現状・課題等

◆ 施設整備

- 府内の合板製造工場に対し、国から仮設住宅(1万戸)向けに合板の供給要請があり、今後も復興住宅のため長期にわたる増産が必要。

建設が必要な応急仮設住宅

岩手県	18,000 戸
宮城県	30,000 戸
福島県	14,000 戸
その他	290 戸
計	62,290 戸

出典：国土交通省(4月4日現在)

地震保険支払件数

	東日本大震災 (2011.3.11)	阪神大震災 (1995.1.17)
支払件数	50万件(推定)	6万5千件

出典：日本経済新聞

◆ 原木確保

- 仮設住宅や復興住宅の建設に必要な合板を安定供給するため、合板製造施設の整備による増産に加え、より一層の原木供給の増加が必要。
- 搬出・運搬経費の助成があれば、採算がとれないため林内から搬出されていない間伐材の利用が可能。(現場からの声)

間伐材の利用実績(H21)

間伐材積(素材換算)		利用率
	うち利用材積	
161,718 m3	55,977 m3	35 %

【京都府の担当部局】

農林水産部 林務課 075-414-5009